

築地町文書概要

- 1: 文書群番号 080015
- 2: 文書群名 築地町文書
- 3: 出所 築地町
- 4: 家業・役職等
- 5: 地名 摂津国川辺郡尼崎築地町／兵庫県川辺郡尼崎町ノ内尼崎町／尼崎市築地本町ほか
- 6: 行政区分 尼崎藩領／兵庫県第9区／尼崎町戸長役場／尼ヶ崎町／尼崎市
- 7: 歴史
築地町は、宮町・中在家町とともに近世になって建設された町で、尼崎八町でもっとも新しい町であった。
元和4年(1618)の尼崎城築城によって旧来の中国街道が分断されたため、承応元年(1652)に街道を城の南側、小島と葭島に付け替える工事とともに、町場建設を計画。二つの島が大黒橋で結ばれ、寛文4年(1664)には整然とした碁盤型街路の築地町が完成した。
北の浜筋には材木屋が並び、南の大浜地先は網干し場で漁師が集住していたと推測される。
明和6年(1769)の惣間口は1546.303間。氏神は初嶋大神宮。近世には浜恵比須があった。修験道の宝珠院がのち真言宗醍醐派となり、さらに潮江に移転した。
- 8: 伝来
市史編集室時代に調査済みであった本文書群を、昭和52年に藤原清氏より借用。昭和56年に藤原氏より史料館へ寄託。
- 9: 史料入手先 藤原清氏
- 10: 点数 82点(目録件数25件)
- 11: 年代 享保20年(1735)～明治6年(1873)
- 12: 構造と内容
本文書群は築地町の町政関係文書である。明治初年頃作成されたものが多数を占める。
内容は町の定書、式目帳、日々の町入用を出入り記した築地町役所日記、水帳、宗旨人家改帳、築地町町絵図など、築地町運営を把握するための基礎史料群であるといえる。
- 13: 関連史料 築地本町二丁目会文書など
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 河野未央